

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成23年7月28日(2011.7.28)

【公表番号】特表2010-535922(P2010-535922A)

【公表日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-047

【出願番号】特願2010-520547(P2010-520547)

【国際特許分類】

C 08 L 81/02 (2006.01)

C 08 L 27/12 (2006.01)

C 08 L 27/22 (2006.01)

【F I】

C 08 L 81/02

C 08 L 27/12

C 08 L 27/22

【手続補正書】

【提出日】平成23年6月13日(2011.6.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

反応性のチオール基および/またはチオレート基を有するポリフェニレンスルフィド(PPS)を線状および/または分枝鎖状の形で、および/または僅かな数のチオール基および/またはチオレート基を有するPPSポリマーとして、チオール基および/またはチオレート基の含有率の高いPPSポリマーに対して99:1~1:99の比率で、および/またはPPS鎖末端にチオール基1%以下を有する僅かな割合のチオール基および/またはチオレート基を有するPPSポリマーとして、またはPPS鎖末端にチオール基を1%より多く有するチオール基および/またはチオレート基の高い割合を有するPPSポリマーとして使用する、請求項6記載の方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項17】

請求項1から5までのいずれか1項記載のポリフェニレンスルフィド(ペル)フルオロポリマー材料の、または請求項6から16までのいずれか1項記載の方法により製造されたポリフェニレンスルフィド(ペル)フルオロポリマー材料の、コンパクト材料として、および/または滑り軸受けもしくは支承の、および/または疎油性および/または疎水性の、もしくは疎油性および/または疎水性を備えた部材もしくはコンパクト材料における、および/または成形部材における添加剤/成分として、および/または(潤滑)膜における表面変性成分として、または被覆として、および/またはブレンド成分として、および/または添加剤として、有利には熱可塑性樹脂溶融物への、および/または反応性材料への、および/または分散液への更なる加工のための添加剤としての使用。